

「健康」から生活をまもる

暮らし / 健康 / 社会
人文書、ご担当者さま

最新医学と12の迷信

大脇幸四郎 著

想田和弘 監督推薦

「コロナへの不釣り合いともいえる反応は、生きがいや楽しみよりも健康を優先させる現代の文化に起因する。『「健康」から生活をまもる』で、大脇幸志郎医師はそう喝破する。」

「コロナ in アメリカ 健康第一主義に傷ついたら」より抜粋 (朝日新聞 2020/8/22)

〈好書好日〉にも掲載されています。→



名郷直樹 医師推薦

『健康第一は間違っている』『逆説の長寿力21カ条——幸せな最期の迎え方』など著書多数
「この本には「医療が命を救う」みたいなこととは対極の愛がある——健康に対する不真面目さこそが必要とされるいま、読むべき一冊だ、

目次…序 / 1 痛風、尿酸、プリン体 / 2 タバコ、酒、次の標的 / 3 ゲーム障害、アスペルガー症候群、うつ病 / 4 血圧、コレステロール、メタボ / 5 認知症 / 6 がん検診 / 7 プレジジョン・メディシン (高精度医療) / 8 ガイドライン / 9 EBM (科学的根拠に基づく医療) / 10 WHO (世界保健機関) / 11 ナチス、大日本帝国、そのほか / 12 誰がファッションフードを笑えるか / あとがき

朝日新聞 (8月下旬)、FRIDAY デジタル (8月下旬)、アエラドット、オーシャンズウェブ、ブルーバックス、文春オンライン (予定) にて紹介記事、書評が掲載されました! 平積み、面陳もご検討いただきますようお願い申し上げます。

「健康」から生活をまもる

最新医学と12の迷信

大脇幸志郎



名郷直樹氏推薦
「この本には「医療が命を救う」みたいなこととは対極の愛がある健康に対する不真面目さこそが必要とされるいま、読むべき一冊だ。」

四六判並製 | p.232 | 1,800円+税
ISBN978-4990917678



四六判上製 | p.280 | 2,700円+税
ISBN978-4990917685

アエラドット、ブルーバックス、共同通信 (8月下旬~現在配信中)、m3 にて紹介記事・書評が掲載されました。平積み、面陳もご検討いただきますようお願い申し上げます。

健康禍

人間的医学の終焉と強制的健康主義の台頭

人文書ご担当者さま

ペトル・シュクラバーネク 著 大脇幸志郎 訳

健康はいつから宗教になったのか

イリッチ、フーコー、ラッセル、ミル、モンテーニュ、マーク・トウェイン……分野の壁を突き抜けて現代社会の矛盾に挑んだ医師シュクラバーネク。忘れられた傑作が、四半世紀を経た今、満を持して邦訳。「この本は医学の本ではない」著者シュクラバーネクは、序で釘を刺す。確かに、氏の博覧強記でもって文学、医学史、哲学、タブロイド、(1990年代最新の)医学誌を横断して紐解く「健康百面相」や健康・医学と政治の結びつきに鋭く切り込む描出は、一般的な「医学の書」の枠には収まらない。しかし、こうも言えるだろう。医学史を掘り起こし、健康主義に正面からぶつかる本書こそが、現代医学が忘れつつある「人間的医学とは何か」を語りえている医学書である、と。

磯野真穂さん推薦! (著書に『ダイエット幻想』、『急に具合が悪くなる』など)

「幸福とは健康であること。……著者はまずこの等号に冷淡な目を向ける。なぜか? 著者が危険視するのは、専門家達が善意で広めた、行きすぎた病気の事前予測である。……健康主義は、ありとあらゆる病気を予防可能なものにし、人を死なない存在に仕立て上げる。しかし、それとは裏腹に人は死にゆく存在である。今生きていることの意味と価値を他者に委ね、あなたの生を手放しては決してならない。」

共同通信配信記事 (2020/8/29) より抜粋

鎌谷書店経由になりますが各社対応可能です。直取引もお気軽に相談下さい。

ご担当	様	「健康」から生活をまもる 最新医学と12の迷信	健康禍 人間的医学の終焉と強制的健康主義の台頭
Tel		冊	冊

番線印

ご注文は

FAX03-3269-8372

PM 生活の医療社
People's Medicine

〒112-0014

東京都文京区関口 1-45-15-104

TEL. 03-6820-8371

HP. www.peoples-med.com



2019/8/30刊 | 40頁 | B5上製
1,500円+税 | 978-4-9909-176-5-4

『ぼくはレモネード屋さん』

文・絵 えいしま しろ

3才のころ「小児がん」になりました。…ぼくの目標は300才まで生きること——。去年ぼくは、小児がんのことを書いた紙芝居「ぼくはレモネード屋さん」を作りました。その紙芝居に書き下ろしの絵やエピソードが加わって、絵本になって生活の医療社から出版されることになりました。小児がんのことやレモネードスタンドのこと、ぼくがみんなに知ってほしいことを書きました。是非、読んでみてください。

天声人語（2019.12.1）をはじめ、新聞掲載、メディア取材多数。

冊



2018/11/27刊 | 32頁 | B5上製
1,500円+税 | 978-4-9909-176-4-7

『ママのバレッタ』

文・絵 たなか さとこ

「ママががんになった」——大好きなバレッタもつかえない。抗がん剤で脱毛した母とのやりとりを、ユーモアを交えながら娘の視点で描く物語。がんと診断されこれから抗がん剤治療に取り組む方、現在抗がん剤治療中の方に、ぜひ親子で読んでいただきたい絵本です。

子育て世代のがん患者コミュニティ《キャンサーペアレンツ》企画ですが、「闘病記」ではなく、抗がん剤治療に取り組むママとそれを見つめる娘の日々の暮らしを綴った「日常の物語」です。ぜひ親子で読んでいただきたい絵本です——もちろん、パパも一緒に。「バレッタって何？」という医療関係者にもお手にとっていただきたい一冊になっています。

NHK ニュースおはよう日本（2018.11.10）、その他新聞各紙、ウェブ媒体でも紹介されました

冊



2017/4/8刊 | 312頁 | 四六上製
3,200円+税 | 978-4-9909-176-1-6

『手仕事の医療 評伝石原寿郎』

秋元秀俊 著

なぜ、東大卒の医師が歯科に転じたのか？

なぜ、わずか52歳で自死を選ばなければならなかったのか？

「歯は、目で見て、自分で治して、そうして、効果がわかる。」石原は自分に言い聞かせるように訥々と、歯科医師への転身をそう語った。清明な論理をもって実証にこだわり続けた石原は、同時にまっすぐに歯科臨床を見据えてもいた。氏の中で、科学としての歯科医学と手仕事としての歯科医療は常にせめぎ合いつつ、併存していた——。これはノンフィクションであり、証言集であり、歯科医学の現代史である。すなわち、いまの日本の歯科医師とは、何者なのか。石原寿郎というひとりの孤高の学者の仕事と彼をめぐる状況を、歴史的資料によって跡づけ、丁寧に紡いだものがたりである。

冊

番線印

取引取次：緻谷書店
その他の取次帳合書店様も返品
条件付でご注文いただけます。
直取引等については、お気軽にご相談
ください。

ご担当 _____ 様

発注日 _____

PM 生活の医療社
People's Medicine
〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104
TEL. 03-6820-8371/HP. www.peoples-med.com

このチラシの FAX 注文は 0120-999-660 まで 担当：秋元/木村